

【第 1 号議案】

2022/2023 年度(2022.7～2023.6)活動総括及び 2023/2024 年度(2023.7～2024.6)活動方針

大学図書館問題研究会京都地域グループ

第 46 回京都地域グループ総会議案

1.2022/2023 年度総括

(1) 研究交流活動

2022/2023 年度は研究交流活動を行えませんでした。

なお、2023/2024 年度にはなりますが、講師に株式会社カーリル 代表取締役の吉本龍司氏をお招きして 2023 年 7 月 22 日（土）に「大学図書館と生成 A I について考える」を開催しました。

参加者は現地参加者（非会員 8 名、会員 9 名）17 名、Zoom 参加では 19 名の合計 36 名でした。

また今回非会員については、現地参加に限定して参加費 500 円を徴収しました。

会員は Zoom でも参加できるようにしたことについては、好評でした。

また、この企画が、大図研の全国大会のシンポジウムにつながる企画にもなりました。

(2) グループ報

2022/2023 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました。大幅な発行遅延やそれに伴って合併号として刊行する号がありました。また今年度は、6 名のグループ会員の方に誌上にて自己紹介をしていただきました。

2022/2023 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

1) グループ報 No.349 (2022/08/15 発行)

- ・大学図書館研究会京都地域グループ第 45 回京都地域グループ総会のご案内（終了しました）
- ・大学図書館研究会京都地域グループ第 45 回京都地域グループ総会議案
- ・会費ご納入のお願い
- ・羊図書館雑記帳 ～プロ～

2) グループ報 No.350 (2022/10/15 発行)

- ・関西 3 地域グループ合同例会のご案内「図書館空間を演出する～学びをつなげる場所」

- ・グループ委員 挨拶
- ・会費ご納入のお願い

3) グループ報 No.351 (2022/12/15 発行)

- ・関西 3 地域グループ合同例会のご案内「図書館空間を演出する～学びをつなげる場所」～終了しました
- ・会員挨拶
- ・会費ご納入のお願い

4) グループ報 No.352-353 (2023/2/15-2023/4/15 発行)

- ・大図研京都ワンディセミナーのご案内「大学図書館と生成A Iについて考える」
- ・会員挨拶
- ・会費ご納入のお願い

5) グループ報 No.354 (2023/6/15 発行)

- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 46 回京都地域グループ総会のご案内
- ・大学図書館問題研究会京都地域グループ第 46 回京都地域グループ総会議案
- ・会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトに、イベント案内、グループ報、グループ運営委員会報告等、グループ活動の記録を掲載しました。メーリングリストは新入会員にあわせ、適宜追加作業を行いました。

また、メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.298 (2022年7月30日) から no.309 (2023年6月30日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。

(4) 組織活動

51 名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。2022/2023 年度は 退会者が 2 名、除籍者が 1 名、また新規入会者は 2 名でした。ワンディセミナー や HP、SNS 等で京都地域グループの活動をアピールし続けた結果と思われます。

(5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しましたが、なかなか企画の実施に至らず、来年度に繰り越す結果となりました。

(6) 広報とデザイン

2022/2023年度は研究交流活動がなかったため、広報活動もありませんでした。

2023/2024年度にはなりますが、2023年7月22日（土）開催の「大学図書館と生成AIについて考える」のビラのデザインを担当しました。

2. 2023/2024年度活動方針

(1) 研究交流活動

この間企画数が少ないので、気楽に参加できる企画を含めた内容を考えていきます。新規会員獲得のためにも、積極的に企画を2～3開催します。

(2) グループ報

定期発行を心掛けるとともに、引き続き広く寄稿を求め、今後も、会員の皆さまへの情報提供・会員間での情報共有を目標とし、連載や特集記事の企画など内容の充実に努めます。

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報やグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

メーリングリストは入会や退会、更新の処理を適宜行います。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

(4) 組織活動

2023/2024 年度当初の会員数は 48 名です。ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS 等を通じ、会員相互の交流が図れるような活動に努めます。また、研究交流企画等を通じて、新たな会員の獲得に努めます。

(5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しますが、グループ報の電子的な発送やオンラインでの研究交流活動企画のため経費の圧縮が見込まれます。グループ会費の適切な金額について引き続き検討を行います。

(6) 広報とデザイン

企画実施に伴い、スムーズにビラの制作に取り組みます。